

市民の方々に遺伝子・ゲノムについて知って頂くための資料をご案内するカタログサイト

(2019年2月版)

これまでに多くの研究機関で、一般市民の遺伝子・ゲノムに関するリテラシー向上を目的としたものが制作・頒布されてきました。

これらの体系化、グッドプラクティスの共有、欠落している領域・手段を確認するために、「遺伝子・ゲノムに関する一般向け普及資料の制作・頒布状況調査」を実施致しました。

その結果を検索できるシステム（カタログサイト）を公開致します。

お願い

このカタログサイトを通して、遺伝子・ゲノムについて扱った国内外での一般市民向けのもので優れていると思われる制作物を収集していきたいと考えております。我々が知り得ていない優れた制作物や今後制作される優れた制作物が御座います場合には、下記Mailアドレスまで情報をお寄せ下さい。

【問い合わせ先】

東北大学東北メディカル・メガバンク機構 ゲノム医学普及啓発寄附研究部門

Mailアドレス：gemeed@megabank.tohoku.ac.jp

遺伝子・ゲノムに関する一般向け普及資料 の制作・頒布状況調査

調査方法

質問紙調査

下記の調査項目①②について質問紙調査で設問し、回答を得た

【調査項目】

- ①遺伝子・ゲノムについて扱った国内外での一般市民向けのもので優れていると思われる制作物について、ご承知の範囲の中で優れていると思われるツール名を3つ程度、ご記入下さい。
- ②併せて、ご推薦頂きましたツールに関しましては、媒体/ 分野/ 推薦理由/ 閲覧方法についてもご記入下さい。

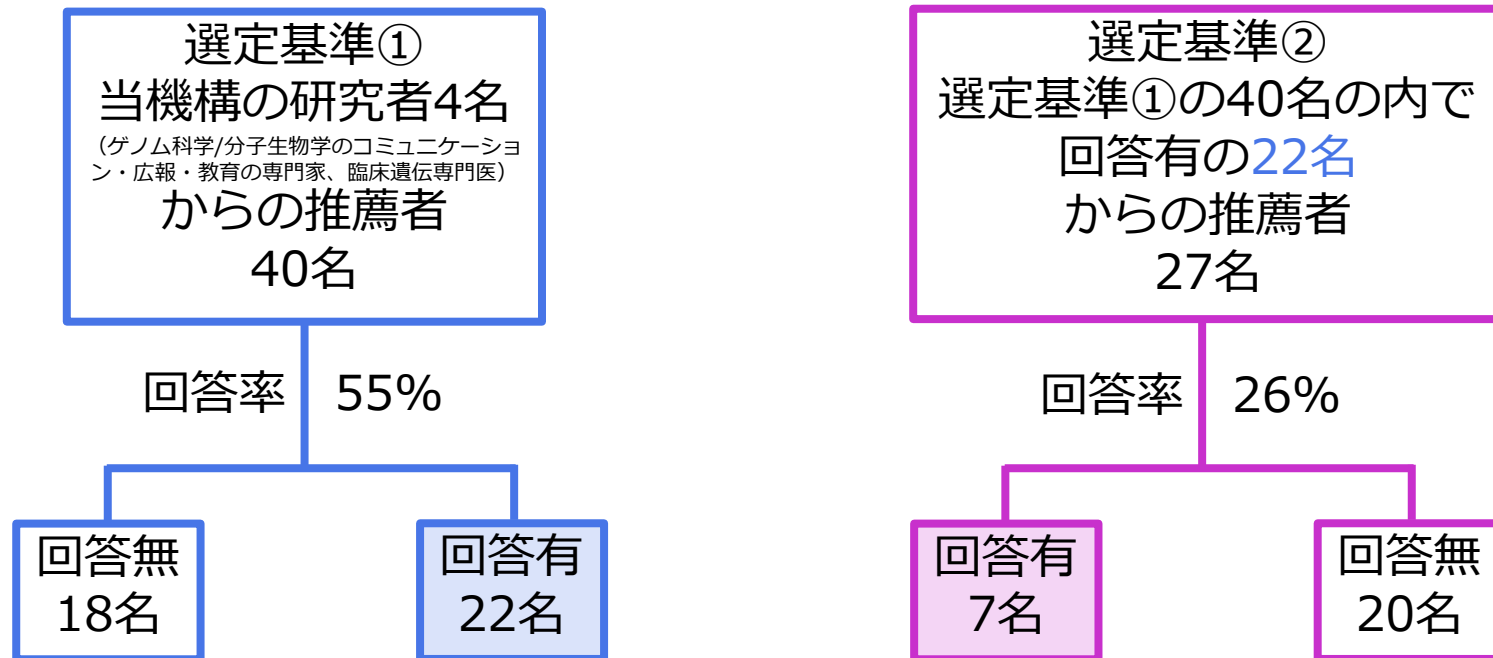
遺伝子・ゲノムについて扱った一般向けの優れた制作物をご記入ください

ツール名	媒体	分野		
		分子生物学一般	ヒト遺伝学	ゲノム医療
例) ヒトゲノムマップ	書籍		○	○
⋮	⋮			

遺伝子・ゲノムに関する一般向け普及資料 の制作・頒布状況調査

調査協力者

- 選定基準①②で推薦された有識者の内、郵送した質問紙調査票にご回答頂きました**29名**（選定基準①から**22名**+選定基準②から**7名**）
- 有識者とは、最近10年間に一般市民の遺伝子・ゲノムに関するリテラシー向上を目的とした制作物の制作または発注に関わってきた研究機関の関係者



遺伝子・ゲノムに関する一般向け普及資料 の制作・頒布状況調査

カタログサイト

【収録内容】

優れている資料として収集された日本製54件、外国製38件を

- 50音順、アルファベット順で掲載
- 媒体別、分野別で検索可能

【活用方法】

本カタログサイトが、今後、一般市民の遺伝子・ゲノムに関するリテラシー向上を目的としたものを制作しようとしている研究者の制作活動の方向性を決める参考に、また、遺伝子・ゲノムに関して知りたいと思われた一般市民の方が目的とする優れた制作物を探す参考になれば幸いです。

【注釈】

- ①調査協力者からご回答頂きました質問紙調査票に記載されている内容をそのまま掲載させて頂きました。
- ②現在では一般に流通していない資料も含まれております。
- ③質問紙調査を実施した時点の情報であり、現状と異なる場合もあります。

遺伝子・ゲノムに関する一般向け普及資料 の制作・頒布状況調査

謝辞

本調査の実施とその結果を検索できるカタログサイトの制作は、下記の支援を受けて、東北大学東北メディカル・メガバンク機構のゲノム医学普及啓発寄附研究部門の活動の一環として制作されました。

- 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）「研究倫理に関する情報共有と国民理解の推進事業（平成28～29年度）/若手研究者による研究倫理の国民への伝え方に関する研究事業（平成30年度）（ゲノム医療実用化に係るELSI分野）」（研究開発代表者：小林朋子）の研究開発支援
- 株式会社東芝からの寄附金（平成26～30年度）

2019年3月 記載